



## カメにはどうしてこうらがあるの、こうらは何でできているの

こうらは、**恐竜** やワニなどのうろこと**同じもの**

カメは、は虫類という動物のグループに入っています。同じグループには、**恐竜** や、ワニ、トカゲ、ヘビなどがいます。こうらをもっているのは、カメの仲間だけです。

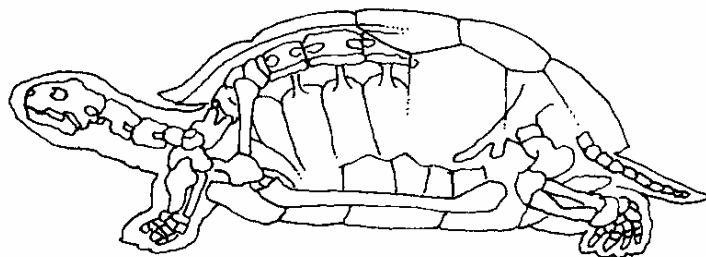
カメの先祖は、こうらをもっていませんでした。今のトカゲと同じような体つきをしていたようです。やがて、カメは、**胸**のところに**ろっ骨**が大きくなり、**胸の部分の骨**がかたくなっていきました。長い年月の間に、**ろっ骨**が**背骨**と重なるように**こうら**の形をつくり、**全身**を**ろっ骨**が**内側**から包むような、今のカメの**体**になりました。

かたいこうらの中に、手足を引っこめてしまえば、どんな敵もカメを食べることはできません。**恐竜**が絶滅した後もカメが生きのびられたのは、この**こうら**のおかげです。

こうらは、**角質**と**骨**でできている

こうらの**外側**（表面）は、ワニやヘビのうろこ、人間の**つめ**などをつくっているものと**同じ角質**でできています。この**角質**の下に、**骨**でできた**厚い骨質層**があります。さらに、**こうら**全体を支えるように、**こうら**の下に**背骨**と**ろっ骨**が重なるようにくっついていきます。

（監修・今泉 忠明）



カメの体の骨とこうら

